

はぐくむ光のびる若芽

202

白磯 畔蒜眞佐江

我が家は、主人の父、子供2人と私たち夫婦の5人暮らしです。

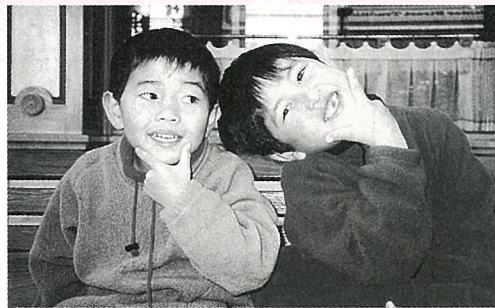
小学2年生の長男は、表面的にはおとなしく引つ込み思案ですが、いじつぱりの負けず嫌い。自分の思った通りにできないと悔しくてたまらないタイプです。でも、周りの人を気遣うやさしい面も持ち合わせています。

今春から小学校に入學する二男は、要領のいいことこの上なく、なんでもお兄ちゃんと同じでないと気が済まない腕白坊主。誰とでも物おじすることなく話したり遊んだりしています。

こんな2人だから、いつも仲よくというのは無理な話で、喧嘩、喧嘩の大騒ぎ。初めは、公平に大岡裁きをしようと調停に乗り出していました。この頃は見て見ぬ振りをするようになっています。すると、いつのまにか仲

良く遊び始めたりしているから不思議です。男の子？人というのはこんなもの？ただし、相手を物で叩いたり、傷つけそうになったり、また、口汚く罵つたりしたときは、親の出番と心得て仲裁に入ります。喧嘩にも、ルールはあるはず。

親は子供の一番の応援団



んちゃんが泣きながら歩いていたそうだけど、どうかしたかい。」と、近所のおばあさんに聞かれました。そういえば、ベソをかきながら帰ってきたことがありました。小学校に入學し、片道2キロ余りを歩くことになった子供を心配していたのですが、地元の人達の何

気ない優しさに触れ、地域で見守ってもらえる心強さ、有り難さを感じました。親だけで子供を育てているのではない、大勢の人に見守られながら、この子たちは成長しているのだとつくづく思います。

もしもするときは、正々堂々と自分を主張してほしいと思います。相手の弱みにつけ込む卑怯者にはなつてほしくありません。まだ長男が1年生になったばかりの頃、こんな事がありました。「この間、あ

健康だより

シリーズ³⁴
今月の顔



大木 津祢さん(88歳)
(木 戸)

長寿の秘訣

冬晴れの日、溢れんばかりの日差しがさしこむ居間でお会いした津祢さんは、1時間を超える取材の間も、終始笑顔で話が弾み、その満ちあふれたバイタリティーには取材する私が驚いてしまう程でした。「呑気に自然に1日1日を楽しく生きることが長生きの秘訣」と話す津祢さんの日々の暮らしをご紹介します。

ているそうです。

◎人との語らいが楽しみ

80歳の時患った帯状疱疹の痛みが出るため、昨年から夕食と就寝は母屋で過ごすようになりましたが、朝起きると別棟の離れにいつて自炊し、そこへ毎日のように近所から人が寄り、地域のニュースを情報交換するなど、10歳も若い方々との会話を毎日楽しんでいきます。家族が忙しい日中では、地域のお年寄り同士の語らいがお互いに孤独にならず、刺激しあい、88歳で自立した生活を送っている所以ではないかと思いました。

◎体力・気力・活力のもと

ゲートボールが町に普及し始めた当初からいち早く始め、毎日木戸浜へ自転車で行って行っていました。打つ間に休みがとれ、仲間と話

をしながら間でお茶を飲んだりと、くたびれなくて面白く出来る方がいいそうです。今は1日1回は、老人カーを押して家の周りを散歩し、近所の方とおしゃべりしながら約20分位歩いて一回りしてくるそうです。また、食事は若い人と同じ物を何でも食べ、乳製品は以前から摂っており、今は、のむヨーグルトを毎日飲んでいきます。また、総入れ歯ですがよく噛め、お茶は毎日4〜5回、1回に2〜3杯は飲んでいくそうです。

最後に米寿のお祝いに披露したという短歌をご紹介します。この歌は、本人の自筆を息子さんが米寿の記念にと、美濃焼の湯飲み茶碗に認めお配りしたものを拝見させていただきました。

めぐみをうけて
いく月日
米寿の祝と
なりにける加那

自然体で生活を楽しむ姿が生きていくことの喜びを若輩の私に教示してくださった気がいたします。これからも、1日を楽しみに慈しんでお暮らしく下さい。

(保健婦 土屋)

◎前向きでいつも楽しく
芝山町から嫁いだ後、農業の傍ら、元来勉強好きな津祢さんは若い時学んだ短歌を自分成りに作り続けてきました。その他、新聞は毎日必ず目を通すなど、知識がとて豊富です。また、裁縫が大好きで綿入れ半纏などの仕立てはピカ一、現在も端切れを使い眼鏡も使わず針目を通し、手縫いで作った袋物を人に差し上げ